

「Green×Housing Project」について

「Green×Housing Project」について

市有地を活用した戸建住宅の街区や民有地における集合住宅など、脱炭素化のモデルとなる街区を創出します

1 趣旨

2050年までの脱炭素社会及び循環型社会の実現に向けて住宅の脱炭素化の加速度的な普及を図るため、（1）「都筑区あゆみが丘地区」及び（2）「都筑中川一丁目地区」において市有地の有効活用や民有地の土地利用誘導により、脱炭素化に資する最高レベルの省エネ性能をもつ住宅整備を誘導します。
また、子育て世代の人口流入、地域の活性化、市民への普及啓発、市内経済の活性化支援に資する先導的なモデルとなる街区を創出します。

今後、公有地などを活用して他の地域にも取組を広げ、郊外の住宅地における脱炭素化及び循環型社会を進めるとともに、地域の活性化にも取り組みます。

2 事業内容

(1) 都筑区あゆみが丘地区

ア 事業の概要

都筑区あゆみが丘の市有地を横浜市住宅供給公社に定期借地として貸し付け、公社が「省エネ性能のより高い住宅」のモデル街区を整備します。

住宅の性能は、高断熱・高気密で、太陽光発電設備及び蓄電池等の設置や体験棟（モデルハウス）の整備を予定しています。

今後、公社が公募する造成工事施工者、建築設計・施工者については市内業者とし、脱炭素建築物の建築に係る事業機会を創出していきます。

なお、本事業は、横浜市と公社で締結した脱炭素社会や循環型社会の実現のための住宅地・住環境の整備等の取組を目的とした「協定」に基づき、実施するものです。



イ 整備イメージ図



ウ スケジュール（予定）

<u>令和7年度</u>	<u>マスタープラン提案者・造成設計者、造成工事施工者 公募手続き（11月）</u> <u>地区計画の都市計画変更手続き（横浜市）</u>
<u>令和8年度</u>	<u>住宅の建築設計・施工者 公募</u>
<u>令和9年度以降</u>	<u>造成工事、建築工事、まちびらき</u>

(2) 都筑中川一丁目地区（「ハウスクエア横浜」跡地）

ア 事業の概要

令和7年3月に事業を終了したハウスクエア横浜の跡地（所有者：東急不動産株式会社、東急株式会社）において、地域住民・開発事業者（土地所有者）・横浜市が協働し、本計画地のまちづくり構想を令和7年5月に策定しました。

今後、省エネ住宅の整備、再生エネルギーの積極活用等や地域の交流拠点を備えた「脱炭素化のモデルとなる先導的な集合住宅」への転換を進めます。



【位置図】

イ 『港北ニュータウン「ハウスクエア横浜」跡地のまちづくり構想』で目指す姿



街区面積：約1.9ha

ウ スケジュール（予定）

<u>令和7年度</u>	<u>ハウスクエア横浜の解体工事着手（8月）</u> <u>地区計画の都市計画手続き（横浜市）</u>
<u>令和8年度</u>	<u>造成工事着手</u>
<u>令和9年度</u>	<u>建築工事着手</u>
<u>令和12年度</u>	<u>まちびらき</u>